

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
竜王町	竜王町	令和3年4月1日 ～令和8年3月31日	令和3年4月1日 ～令和8年3月31日

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 / 目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。
(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和2年度)	目 標 (令和7年度) A	実 績 (令和7年度) B	実績 / 目標
総人口	11,760	11,200	11,006	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	9,179	8,903	8,641
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	78.1%	79.5%	78.5% 28.6%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	735	647	672
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	6.3%	5.8%	6.1% 40%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	1,266	1,246	1,186
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	10.8%	11.1%	10.8% 0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	580	404	507 —

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

公共下水道については既設設備の維持管理が中心となったことから整備地域が拡大していないことに加え、既存の浄化槽等を活用する世帯が多くいたことが要因と考える。

集落排水施設等については、対象地域の住民が見込みほど減少しなかったことが要因と考える。なお、令和8年度より集落排水施設等は下水道へ接続され、その役目を終えることとなった。

合併処理浄化槽等については、循環型社会形成推進交付金等を活用し、住宅団地において新規設置が進んでいるが、その件数が少なかったことに加え、既存の浄化槽を廃止して下水道等への接続へ変更された件数が多かったことが要因と考える。

未処理人口については、くみ取りおよび単独処理浄化槽から下水道・合併処理浄化槽への切り替えが進まなかったことが要因と考える。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和12年度まで

浄化槽の設置補助対象地域については、合併処理浄化槽の有効性や補助制度の周知を行い、設置促進を図る。

公共下水道整備地域については、既存浄化槽から公共下水道への接続について啓発を推進する。

(都道府県知事の所見)

上記の目標未達成の要因および目標達成に向けた方策は妥当であると認められる。

県としても、これらの取組を通して汚水処理未普及の解消が計画的かつ効果的に推進されるよう、引き続き情報提供や必要な指導・助言に努めていく。